



久木野小だより

第5号
水俣市立
久木野小学校
文責：永田

実りの秋となるように

9月1日(火)に2学期がスタートしました。今日9月25日現在、14人全員が毎日元気に登校し、教育活動を進めることができていることを、本当にうれしく思います。

2学期は、学習や運動などの取組を充実させるのに適した時期だと言われます。さらに2学期には、運動会や修学旅行(6年生)、収穫祭などの大きな行事もあります。久木野小の子供たちにとって、実り多き学期となりますよう保護者の皆様、地域の皆様の、変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



美化作業

8月23日(日)の美化作業には、貴重な日曜の朝にも関わらず、保護者の皆様、たくさん地域の皆様にご参加いただきありがとうございました。おかげさまで運動場をはじめ、崩落後なかなか草刈りができていなかった石垣周辺までもきれいになりました。

また、この日に限らず、地域の皆様、土日などに除草作業をしてくださっていることがあります。なかなかきちんと御礼を申し上げることができておらず申し訳ございません。いつも本当にありがとうございます。



学校教育目標

校訓
身に付けさせたい力

郷土を愛し、未来を拓く力を持った児童の育成
かしこく、たくましく、心豊かに
見通す力、考える力、表現する力
粘り強く取り組む力、守る力

運動会に向けて

10月4日(日)、久木野小学校運動場で(悪天候時は体育館で)運動会を開催します。当日までおよそ1週間となり、練習にもますます熱が入っているところです。当日は、保護者の皆様、地域の皆様、14人の子供たちの輝く姿をご覧いただき、大きな声援をいただければ幸いです。

皆様のご来場をお待ちしております。
8時30分、入場開始です。



平成16年度アルバムより

久木野小の思い出
ふれあい文化祭に
向けての練習



10月の主な行事(変更になる場合があります。)

2日 運動会準備 4日 運動会
8日 5・6年水俣市小体連陸上記録会(エコパーク)
16日 4年社会科見学(通潤橋)
22日 読み聞かせ
25日 26日 6年修学旅行(長崎方面)
27日 6年振替休業日(25日分)

職員の勤務時間
午前8:15
～
午後4:45
ご理解とご協力を
どうぞよろしくお願いいたします。

【裏面もご覧ください。】昨年6月号の内容の数値を新しくしたものです。どうかご一読ください。

文字が多くて申し訳ございませんが、どうか
ご一読ください。

教員の業務について（お願い）

日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、下の表は、本校学級担任の平均的な勤務状況です。

※本来の勤務時間は 8:15-16:45 の 7 時間 45 分、休憩時間は 12:40-13:10 と 15:15-15:30 の計 45 分です。
【久木野小担任の 1 日】

	7:45 頃	出勤
	7:45- 8:15	授業準備、提出物・連絡帳確認 など
本来の勤務開始	8:15	健康観察・朝の会
	8:15- 8:30	
	8:30- 9:15	授業
	9:15- 9:25	授業準備
	9:25-10:10	授業
	10:10-10:20	授業準備
	10:20-11:05	授業
	11:05-11:15	授業準備
	11:15-12:00	授業
	12:00-12:40	給食指導（準備・片付けの指導を含む。そして自分は早食いで作品へのコメントや〇付け など）
本来は休憩時間	12:40-13:10	児童の遊びの見守り、午後の授業準備、学級事務 など
	13:10-13:25	業間活動指導（掃除、集会、一輪車 など）
	13:30-14:15	授業
	14:15-14:30	下校指導
	14:30-15:15	授業
本来は休憩時間	15:15-15:30	下校見送り、少し休憩
	15:30-16:30	会議、研修、授業準備、担任間の打合せ など
本来は勤務終了	16:45	授業準備、電話連絡、学級通信作成、担任間の打合せ、会議の提案文書作成、行事の準備など
	16:45-18:00	
	18:00 頃	退勤

休憩も十分に取れず 1 時間 45 分の超過です。勤務日ひと月 20 日と考えると、35 時間の超過勤務となります。小学校は平成 31 年 3 月で部活動が廃止されましたので、以前より早く退勤できるようになってはいませんが、それでもなかなかサツとは帰れないのが実情です。また、複式学級担任なので授業の空き時間もなく、週当たり 30 コマを受け持っています。文科省が公表した 2024 年度における小学校教員の持ちコマ数の平均は 23.9 コマ（中学校は 18.1 コマ、高校は 15.5 コマ）ですが、本校職員は、これを大きくオーバーしています。それでも不満など口にすることもなく、子供たちが下校するまでほとんど職員室にも戻ってきません。

左の例は、あくまでも平均的な状況ですので、これより朝早く出勤する者もいますし、さらに遅くまで仕事をする者や持ち帰って家で仕事をする者もいます。

「教員だけが忙しいのではない」というお声もあるかもしれませんが、もちろんそうだと思いますが、私が受けた働き方改革に関する研修では、超過勤務時間は、教員・医師（開業医ではなく勤務医）・霞が関の官僚、これら 3 種が突出しているとの話を聞きました。

教員の働き方の現状によって、心身の不調で休職する者が増え続けているとともに、若い世代の教員離れ（プライベートな時間がないからなりたくない、勉強を教えること以外の仕事が多すぎるからいやだ、また、教員になってもすぐやめる）が加速しています（令和 9 年度 4 月採用に向けた今夏の熊本県小学校教員選考考査の志願倍率は、残念ながら 1.1 倍しかないとのこと）。教員の不足や教育の質の低下は、子供たちはもちろんのこと、国の未来にもかかわる重大な問題です。

休職を防ぎ、教員離れに歯止めをかけるには、教員にプライベートな時間をしっかり確保し、ゆとりをもって業務に当たることができるようにすること、そして、学校現場が魅力あるものに見え、選ばれる職業にしていけることが大切だと考えます。

また、超過勤務は命にかかわる問題でもあります。厚生労働省によると、脳・心疾患の発症と業務との関連性については、ひと月の時間外勤務がおおむね 45 時間を超えると「徐々に強まる」、80 時間を超えると「強い」とのことです。実際に私が同勤したがんばり屋で超過勤務の多かった教員（当時 50 歳）は、前日まで普通に過ごしていたのですが、急性大動脈解離をおこし、緊急手術で一命をとりとめました。

こういった病気のみならず、疲れた暗い顔で子供たちの前に立つ教員は、子供たちも保護者の皆様も望まれないと思います。加えて、ゆとりがなければ、創造的な教育はできないと考えます。子供たちのため、教員のため、国の未来のため、教員のワークライフバランスをよりよくしていきたいと考えています。教員それぞれに家庭があり、大切な人がいます。

手前味噌ですが、本校職員は、毎日本当に誠実に職務に励んでいます。だからこそ、心身を病んだりすることがないように、家庭もプライベートな時間も大切にしてもらいたいと思っています。また、生き生きと働く本校職員の姿を見て、「自分も学校の先生になってみたい」と久木野小の子供たちが思ってくれば、なうれしいです。

これまでもご協力をいただいておりますが、勤務の適正化が一層進むように（本来の時間 8:15-16:45 の勤務に近づけるように）、校長としても努力してまいりますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

読みにくい文章を最後までお読みいただき、ありがとうございました。

水俣市立久木野小学校 校長 永田 博弥

【参考】中央教育審議会答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」（平成 31 年 1 月 25 日）には、以下のように書かれています。

- 基本的には学校以外（地方公共団体、教育委員会、保護者、地域ボランティア等）が担うべき業務
- ①登下校に関する対応
 - ②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導されたときの対応
 - ③学校徴収金の徴収・管理
 - ④地域ボランティアとの連絡調整